

CSI3-G3・G5 使用方法

※ご使用の際は必ず換気を行ってください

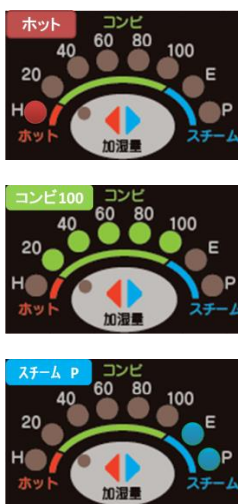
⚠ 注意

- ・扉の開閉の際、蒸気・熱気に十分ご注意ください。
- ・庫内に水をかける場合は、庫内温度が 50℃以下に下がるまで絶対にかけないで下さい。
- ・お酒や味りん等に含まれるアルコールは煮切るなどして飛ばした上で使用してください。(アルコールが残ったままですと発火・小爆発する恐れがありますのでご遠慮下さい)。



- ① 換気装置の稼働を確認しガスの元栓と給水栓を開ける。
- ② 電源スイッチを入れる。(コントロールパネル側面)
- ③ 加湿モードを設定する。
※例はコンビモード加湿量 100 の状態です。
- ④ 庫内温度 を設定する。
- ⑤ 調理時間(運転モード)を設定する。
芯温はオプション
《 タイマー・連続(c.on)・ 芯温・芯温タイマーのいずれか》
タイマー・連続の切替は⇒ 3秒長押し 芯温・芯温タイマーの切替は⇒ 3秒長押し
- ⑥ 風量 を設定する。
- ⑦ 扉を閉め運転キーを 1 回押す。[予熱開始]
予熱中は「PH」が表示されます
- ⑧ 予熱完了ブザーが鳴ったら [予熱完了]
- ⑨ 扉を開け食材を入れ、設定内容を確認し扉を閉めて運転キーを 2 回押す。[調理開始]
- ⑩ 完了ブザーが鳴ったら停止キーを押す。[調理完了]

❖加湿モードの表示例



※設定変更する場合


⇒変更したいキーを押し、ダイヤルを回します。

※途中停止する場合

⇒停止キーを2回押しして下さい。

- ❖ 設定温度の確認 ⇒運転中に を押しと設定温度が表示されます。
- ❖ 扉を閉めた状態で を押し、扉を開けると庫内温度が下がります。(庫内が50℃に下がると自動停止します。)
- ❖ を押しと庫内灯がつきます。
- ❖ を押しとお好みで加湿可能です。
- ❖ を押しとダンパーが開き、除湿できます。


CSI3-G3・G5 清掃方法

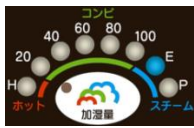
- ① 庫内温度が60℃より高い場合、冷却が必要です。
扉を閉め、冷却  を押します。
その後扉を開けるとさらに早く冷えます。

- ② 庫内と扉窓ガラスに「コメットタフナーA」を吹きつけ、扉を閉め10分前後おきます。

(庫内温度が60℃以上だと洗剤が蒸発して危険です。)

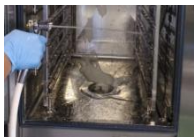


- ③ スチーム E 100℃で10分運転し庫内を洗浄します。
( を2回押す。)



- ④ ブザーが鳴ったら扉を開けハンドシャワーで庫内を良くすすぎます。(泡が消えるまで)

※ ハンドシャワー使用後は『元栓』を閉め、レバーを握って下さい。
(残留水・圧を抜くことによりシャワーホースの老朽化を防ぎます。)



(a) 裏窓ガラスを、柔らかい布巾で拭いて下さい。(傷つき防止)




(b) ドアパッキンに付着した洗剤、油汚れを、タオル等でしっかり拭き取って下さい。




(c) 目皿、つゆ受けをシンク等で洗って下さい。



- ⑤ 扉を閉めホット200℃で10分運転し乾燥させます。
( を2回押す。)



- ⑥ ブザーが鳴ったら完了。 を押します。
(扉を開けておくとパッキンの負担を軽くできます。)

- ⑦ コントロールパネル側面の電源を『OFF』にします。

- ・扉の開閉の際、蒸気・熱気に十分ご注意下さい。
- ・庫内に水をかける場合は、庫内温度が50℃以下に下がるまで絶対にかけないで下さい。
- ・スチコンを衛生的に、長期間お使い頂く為に弊社純正品「コメットタフナーA」を必ず使用してください。
- ・清掃を開始する時は、「保護手袋・保護マスク・保護メガネ」のご使用をお願い致します。
- ※コメットタフナーA以外の洗剤では、庫内の汚れが十分に落ちない場合や機器を痛める場合があります。また、配管の目詰まり・損傷・不具合については責任を負いかねます。
- ・コメットタフナーAのお問い合わせはコメットカトウまでお願いいたします。

毎日のお手入れ

ドアパッキン

調理によりついた油は中性洗剤を使ってふき取って下さい。



目皿、つゆ受け

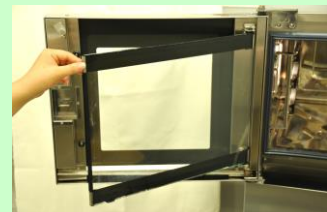
シンク等で洗浄し、必ず元に戻して下さい。



月に1～2回のお手入れ

二重ガラス内側部分

柔らかい布巾で拭いて下さい。
(傷つき防止)



※機械が十分冷めてから行って下さい。
※コメットタフナーAなどのアルカリ洗剤は使用しないでください。ガラスの接着材が溶けて剥離します。